

福島浜通りトライデック 設立趣意書

福島浜通りを含む東日本全域に大きな被害や影響を及ぼした東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故から10年が経過した。この間、福島浜通りでは、福島イノベーション・コースト構想、国際教育研究拠点をはじめとする復興創生事業が順次進められてきている。しかしながら、この反面、例えば双葉郡8町村では避難指示が順次解除されてきているものの、住民の帰還率は低水準に留まっており、とりわけ将来を担う若い世代に対して福島浜通りは十分に魅力ある地域とはなっていない現状があるなど、数多くの課題が未だに山積する。

一方、米国ワシントン州には、過去の放射線汚染地域から、現在では全米でも有数の繁栄都市(2010年には全米で1番の雇用率上昇、2013年には全米で6番目の人口増加率等)となった実績を持つ地域が存在する。それがハンフォード地域で、ワシントン州の南東部に位置し、そのハンフォード・サイトでは、プルトニウムの精錬が1944年から1989年まで行われてきた。冷戦構造の終結、環境問題に対する住民意識の高まりなどを背景として、ハンフォード・サイトの当初の役割は終結し、米国エネルギー省、米国環境庁及びワシントン州エコロジー部の三者間で締結した1989年の合意を基に、ハンフォード・サイトのクリーンアップ事業(除染事業)が進められている。こういったハンフォード地域の大きな変化を反映して、トライ・シティーズをはじめとした周辺地域の経済発展のための事業が、これまで約60年間展開されてきている。

このハンフォード地域の経済発展に中心的な役割を果たしてきているのが「トライデック(TRIDEC: Tri-City Development Council)」である。ハンフォード地域に存在する高等教育機関、国立研究所、地方公共団体、地域産業界等の多様なステークホルダーの利害関係を、ボトムアップ方式で調整し、ハンフォード地域としての「ワンボイス(One Voice)」を作り上げている。ハンフォード地域の成功は、トライデックを核として、世界有数の国立研究所、新産業を興すことが出来る大学、高学歴の労働力、経済発展を推進する情熱に燃えた多くの人材の存在等に基づいている。

このハンフォード地域の成功例を見て、福島浜通りの復興創生のこれまでと今後の在り方を今一度考え直してみる必要がある。現在進められている福島浜通りの復興創生に関する計画や事業などが、地域住民の期待に十分に沿ったものになっているかどうか、福島浜通りの今後の経済発展に真に結びついていくかどうか、福島浜通りに若者を引き付ける魅力のあるものとなっているかどうかなどである。

このような観点に立ち、1) 米国ハンフォード地域の経済発展モデルを福島浜通りでも実現する、2) 福島浜通り復興創生のためのグラスルートのムーブメントをつくる、3) 国等に頼るだけでなく自分達の運命は自分達で決めるという地域住民の自立した積極性を根幹とする、4) 国内外の若い世代を福島浜通りに引き付ける新たな魅力・ビジョンを創造し実現する、5) 福島浜通りに居住する地域住民の「ふるさと」を創生するという草の根からの目標を掲げ、この度「福島浜通りトライデック」を発足させることとする。

このボトムアップ、草の根から様々な提案・声を発信するという試みは、トップダウンの体質に慣れきった我が国社会において、大きなチャレンジではある。しかしながら、「福島浜通りトライデック」の試みは、我が国社会の今後のモデルとなり、福島浜通りのこの地から国内外に対して、地方の地域の新たな在り方を提案していくことになると、我々発起人一同は確信している。

2021年3月 発起人一同

福島浜通りトライデック 発起人

(順不同、敬称略)

- ・岩城 光英 (元法務大臣)
- ・吉野 正芳 (衆議院議員、元復興大臣)
- ・若松 謙維 (参議院議員、元復興副大臣、日本ワシントン州議員友好連盟窓口)
- ・高木 美智代 (衆議院議員、元厚生労働副大臣、元経済産業大臣政務官)
- ・森田 実 (政治評論家、山梨大学名誉教授、森田実地球文明研究所所長)
- ・大西 康夫 (東日本国際大学福島復興創世研究所所長、元パシフィックノースウェスト国立研究所最高科学者、元 IAEA 委員)

- ・小野 栄重 (いわき商工会議所会頭)
- ・佐藤 辰彦 (創成国際特許事務所会長)
- ・蛭田 史郎 (元旭化成社長)
- ・渡辺 淳子 (常磐興産株式会社常務取締役)
- ・深山 延暁 (特定非営利活動法人 NBCR 対策推進機構副会長)
- ・村田 裕之 (磐栄ホールディングス株式会社代表取締役)
- ・門馬 成美 (いわきタクシーグループ代表)
- ・吉田 恵美子 (特定非営利活動法人ザ・ピープル理事長)
- ・平山 勉 (ふたばいんふお代表)
- ・石井 正三 (東日本国際大学健康社会戦略研究所所長、地域医療連携推進法人医療戦略研究所所長)
- ・千葉 義夫 (株式会社 ESK 代表取締役)

- ・角山 茂章 (元会津大学学長)
- ・山下 治 (福島工業高等専門学校校長)
- ・二見 亮弘 (福島大学理事・副学長)

- ・緑川 浩司 (学校法人昌平齋理事長)
- ・吉村 作治 (学校法人昌平齋総長)
- ・中村 隆行 (東日本国際大学副学長・福島復興創世研究所所長代行)
- ・福迫 昌之 (東日本国際大学副学長・福島復興創世研究所副所長)
- ・石崎 芳行 (東日本国際大学福島復興創世研究所副所長・客員教授、元東京電力ホールディングス株式会社代表執行役副社長)
- ・塚本 泰英 (東日本国際大学福島復興創世研究所幹事)